

FAROiwaki



SYハウス

自然を活し快適な「住いと暮らし」をデザイン

環デザイン舎
Kan design sha

Portfolio

CONCEPT

自然を活し快適な「住いと暮らし」をデザイン

環デザイン舎では、自然を活かし快適でつながりある環境をデザインしています。7つのコンセプト。

1. 環境を活かす

地域の気候風土、敷地条件、既存建物の骨格を読み解き、活かすことがデザインのベースとなります。いい部分を選びだし、建築的に反映させる。

2. 分かりやすさ

分かりやすく伝えられることが、よりよいものづくりへつなぐと考えています。そのため、図面や文章と共に、事例写真、3D、サンプル、模式図、表など様々な表現で伝えること。綿密な打ち合わせが重要。

3. 個性好みを引き出す

建築づくり、環境づくりで大事なものは、オーナーの個性や好みを実現できることが重要。打合せの回数が必要なのは、少しづつ、好みとは何か？を整理し見つける作業だから。十人十色です。

4. 自然素材活用

建築、環境をデザインする上で「時間」を考えています。数十年後も古びて心地よいのは、自然素材。リノベーションしたり、新旧融合する上でも自然素材はいい材料です。

5. 新旧の融合

リノベーションが増えています。新築の場合でも既存建物の一部を再活用する要望があります。資源の有効活用。新旧の建物、素材等を可能な限り組み合わせることで、建築への思いをつなげます。

6. つながりをつくる

建築をつくる際は、可能な限りオーナーに製材所で木を見てもらいます。自分の建物の素材の出どころを知ってもらい、今後のつながりづくりが安心と愛着につながると考えています。地域の木材活用の際も、ユーザー、設計、製材等がつながりをつくることにより良い木材活用につながります。

7. つくる楽しみ

建築づくりは、オーナーの関わりが深いほど、愛着が深まります。だから、オーナーに応じた関わりつくりします。DIYで塗装や左官工事参加。施主支給品の厳選。1年以上の長期間の設計検討期間。現場でのつくり込みなど。



既存躯体確認の工事現場 TTハウス



設計中のLDK検討3Dイメージ AYハウス



製材所で無垢天板選び FAROIwaki



親子で床塗装DIY TTハウス

PROFIRE

代表者 北瀬 幹哉 Motoya Kitase

1972年 北海道旭川生れ

1998年 芝浦工業大学大学院修士課程終了(三井所清典研究室)

2008年 (株)中村勉総合計画事務所 退社

2008年 福島県いわき市へ移住後「環デザイン舎」開設

2010年 宮城学院女子大学 非常勤講師(2014年まで)

2011年～ineいわき農工商連携の会事務局運営を震災復興と共に開始

2011年～木造公共建築物等の整備に係る設計段階からの技術支援事業委員

2017年～CLT設計支援委員会委員



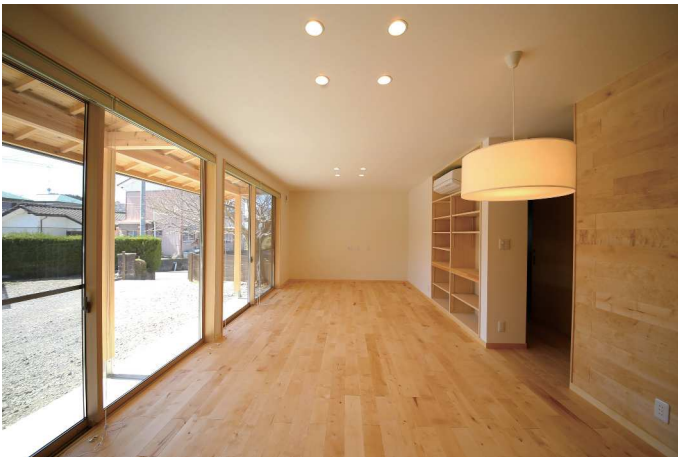
WORKS



Guest House & Lounge FARO iwaki リノベーション



薪ストーブのある
二世帯住宅
SYハウス



シンプル&コンパクト
高断熱新築住宅
MAハウス



築250年古民家
断熱・バリアフリー
リノベーション
OKハウス



WORKS



店舗を住宅へ
断熱・自然素材
リノベーション
TTハウス



いわき湯本 YHハウス
長期優良住宅



KSハウス



いわき湯本 YHハウス+



アグリエコステーション (安達産直センター)



大國魂神社 仮殿

